

地域で支える！支援がつながる！
下肢装具勉強会



参加者募集

補装具支援格差 ZERO プロジェクト

2026年9月11日(金) 18:30～20:30 (開場 18:15)

会 場：川崎市総合自治会館 大会議室1・2

対 象 者：川崎市内(主に中原区・高津区・宮前区)でリハビリや相談支援に
従事されている方 (セラピスト、ケアマネジャー、相談支援員など)

参加方法：ハイブリッド形式 (対 面 / ZOOM) **参加費無料**

定 員：対面 50名 (オンラインは制限なし)

申込方法：**事前登録制**となっております。

登録フォーム(QRコード) またはメールでお申し込みをお願いします。

〆切：2026年 9月2日(水)

申込用メールアドレス：40rityubu@city.kawasaki.jp

下記の内容をメールに記載していただき、お申込みください。



【例】

希望参加方法	対面参加 or オンライン参加(ZOOM)
氏名	中部 太郎
フリガナ	チュウブ タロウ
職種	理学療法士
経験年数	13年目
所属先(名称)	〇〇訪問看護ステーション
メールアドレス(連絡先)	〇〇〇〇〇〇@gmail.com
緊急連絡先(電話番号)	080-〇〇〇〇-1234

※申込みの受付け後、申込みいただいたメールアドレスに返信致します。当センターからのメールを受け取れるよう、受信設定をお願いいたします。(40rityubu@city.kawasaki.jp)

※対面参加の定員は50名です。参加の可否につきましては、1週間前までにご登録いただいたメールアドレスにご連絡させていただきます。

※いただいた個人情報は、当事業(研修運営)以外での使用は致しません。

補装具支援格差とは？

「補装具支援格差」という言葉を知っていますか？ 脳卒中を発症した患者さんの多くは、急性期・回復期病棟にて機能訓練を受け、そのリハビリの過程で下肢装具を処方されています。

しかし、退院後のフォローアップ体制は確立してないことも多く、装具の破損や不適合、それに伴う装具の不使用もあり、活動レベルの低下という悪循環に陥りやすい状況があります。

一方、地域で働く我々支援者においても、下肢装具を使用する利用者さんに関わる経験は様々だと思います。下肢装具の不備に気付き、修理・作製・見直しを行いたいと思っても、利用できる制度や相談先が分からず、進まない場合もあるかもしれません。

こうしたフォローアップ体制の不備により、下肢装具使用者が悪循環に陥っている事象を「補装具支援格差」と呼んでおり、地域で機能を維持しながら生活し続けるために、解消すべき重要な問題だと考えています。

「補装具支援格差 ZERO プロジェクト(下肢装具編)」では、我々地域の支援者によるフォローアップ体制が円滑に進むよう、地域におけるネットワークを構築していくことを主たる目的としています。

今年度は、地域のセラピスト、相談支援に関わるケアマネジャー等、多職種で集まり、事例を検討しつつ、補装具支援格差 ZERO に向けて、相互に話し合う機会になればと思っております。

当日の流れ

テーマ：『補装具支援格差を ZERO にする取り組みについて考える』

内 容：①補装具制度について ②補装具外来の流れ ③事例発表

進行表：

18:30～ 開始

18:40 ①補装具(下肢装具)制度について 蛭川 CW(中部地域支援室)

18:50 ②補装具外来の流れ 鈴木 PT(中部地域支援室)

19:00 ③事例発表

事 例：『地域連携により下肢装具支援が繋がった 2例』

発 表 者：舘 PT(老健 葵の園・武蔵小杉)、鷹島 PT(老健 ゆい)

19:50 講評 小林所長(川崎市総合リハビリテーション推進センター)

20:00 オンライン終了 / 対面(自由参加) 相談コーナー、歓談タイム

20:30 対面終了

会 場：川崎市総合自治会館 大会議室 1・2

〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3 丁目 600 番

コスギサードアヴェニュー4 階



お問い合わせ：☎044-750-0686 (中部地域支援室 担当 ひるかわ おの 蛭川、小野)

✉40rityubu@city.kawasaki.jp

主

催：川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター 企画・連携推進課

中部リハビリテーションセンター 中部地域支援室/中部在宅支援室